

2024/1/20

SDGs未来都市舞鶴市を通して 地方創生を考える

～ICTで人と繋がる。社会と繋がる。教科が繋がる。誰一人取り残さない教育を目指して～

学校法人聖ヨゼフ学園
日星高等学校

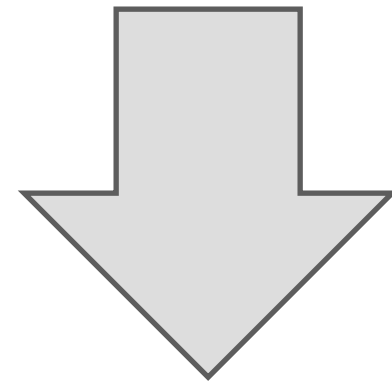
目次

- 本研究の特徴
- 「総合的な探究の時間」3年間のデザイン
- 1年生:「日星ゼミ」「V市役所」
- まとめと今後の課題(デジタルを活用した社会参加)

本研究の特徴

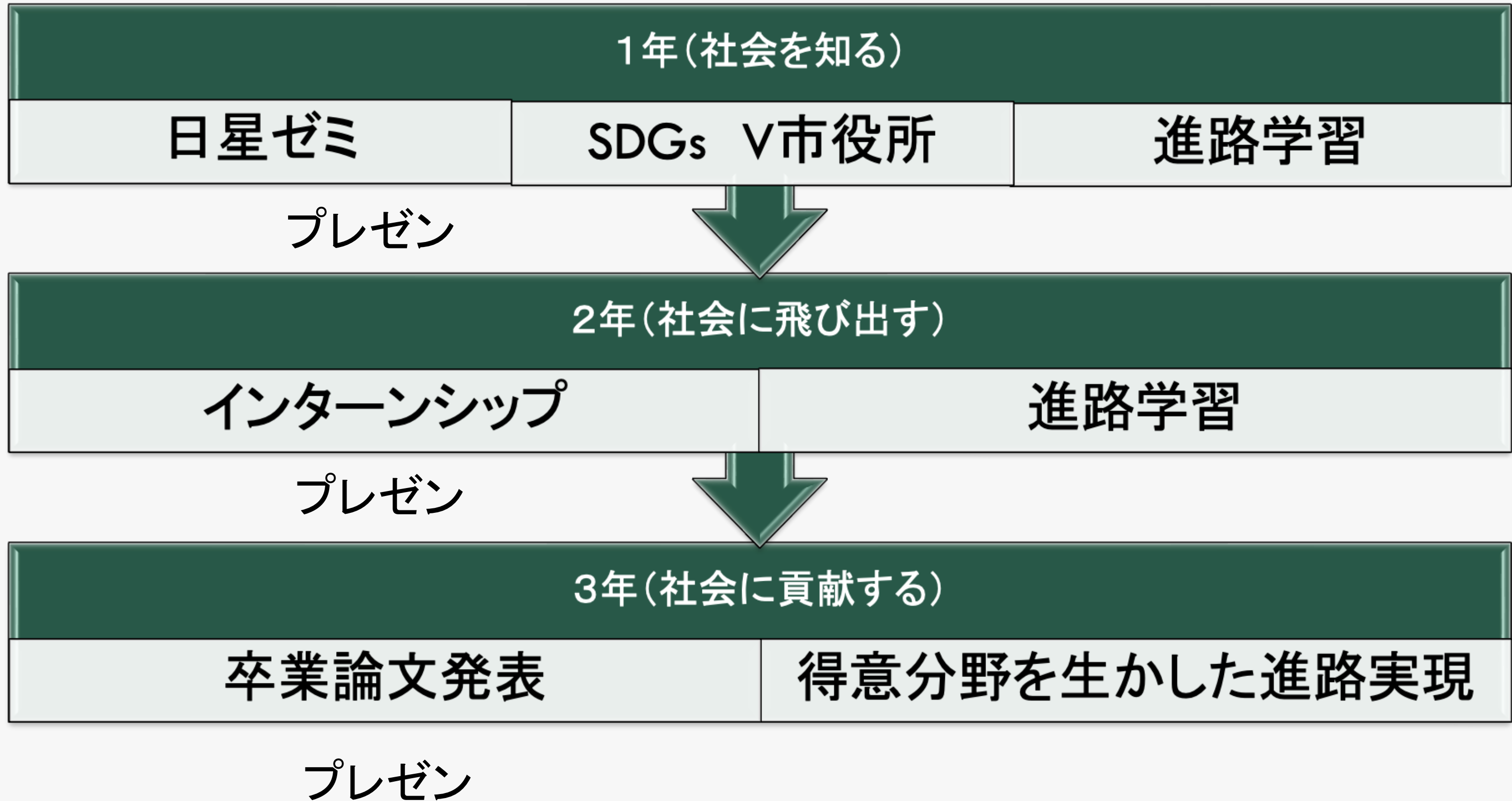
- SDGsの考え方をもとに地域課題の理解、
地方創生について考える総合探究
- 地域の活性化を願う行政、民間、多くの大人が関わることにより、
「原体験」や「問い」を持てるプログラム
- タブレット、1人1台端末による、状況に応じたICTの活用

原体験(感情が動く)

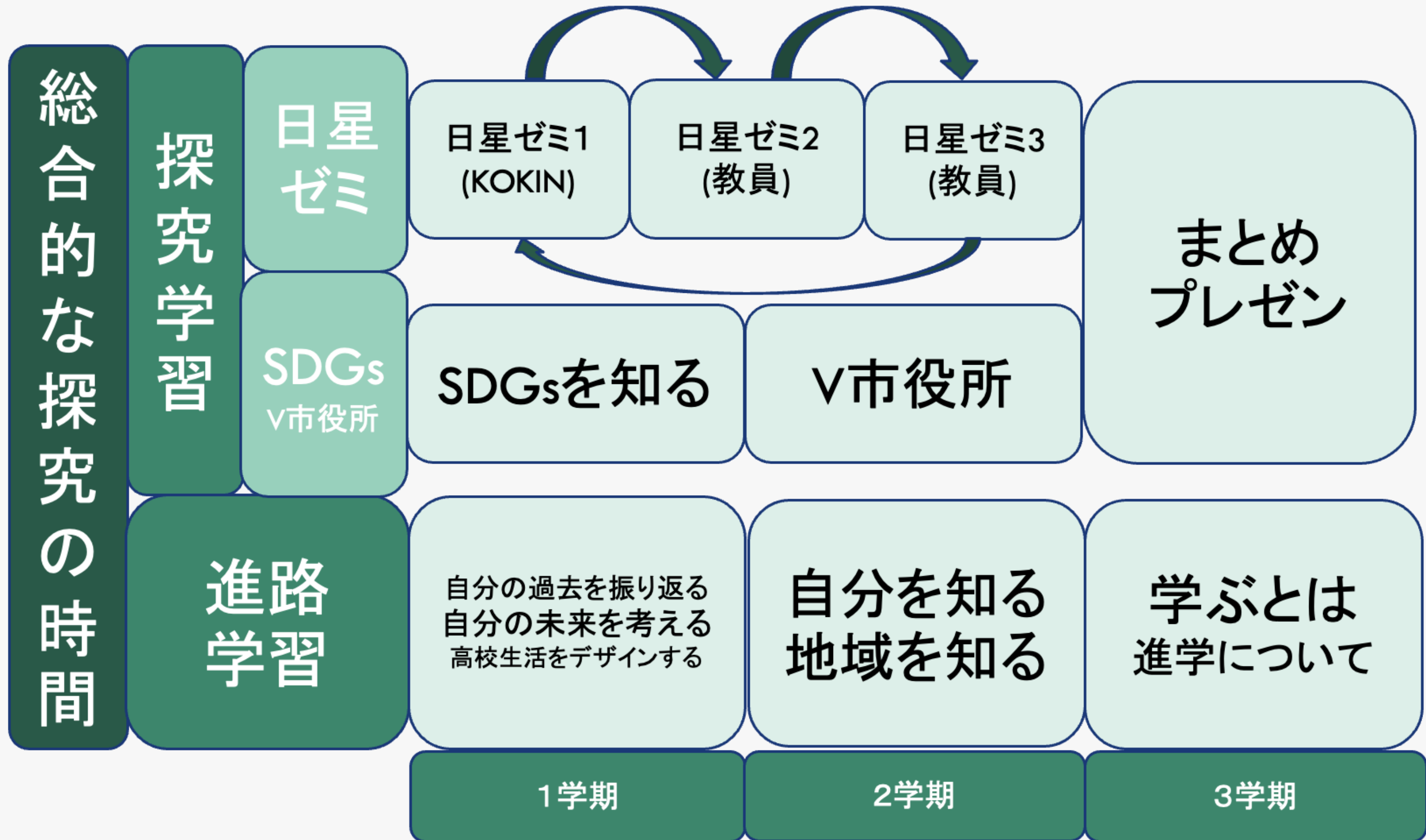


「自分ごと」

2022年度入学生 総合学習デザイン



1年生（社会を知る）



KOKIN



	授業テーマ	内容	場所	講師	備考
第一回	舞鶴の課題発見	オリエンテーション 課題発見ブレスト	日星高校	原田	
第二回	実践例を学ぶ	商店街現地ツアー	FLAT+	原田	第二回第三回は 2コマ連続授業
第三回	課題設定	ツアー振り返り 取り組む課題決定	FLAT+	原田	
第四回	行動宣言	大滝による講演 行動宣言	日星高校	大滝	
随時	実践	行動宣言した 内容の実践	活動に応じて	原田	原田が適宜活動 サポート

『早く舞鶴から出たいな～』

『舞鶴って何もないやん』

	授業テーマ	内容	場所	講師	備考
第一回	舞鶴の課題発見	オリエンテーション 課題発見ブレスト	日星高校	原田	
第二回	実践例を学ぶ	商店街現地ツアー	FLAT+	原田	第二回第三回は 2コマ連続授業
第三回	課題設定	ツアー振り返り 取り組む課題決定	FLAT+	原田	
第四回	行動宣言	大滝による講演 行動宣言	日星高校	大滝	
随時	実践	行動宣言した 内容の実践	活動に応じて	原田	原田が適宜活動 サポート

第1回 舞鶴の課題発見



	授業テーマ	内容	場所	講師	備考
第一回	舞鶴の課題発見	オリエンテーション 課題発見ブレスト	日星高校	原田	
第二回	実践例を学ぶ	商店街現地ツアー	FLAT+	原田	第二回第三回は 2コマ連続授業
第三回	課題設定	ツアー振り返り 取り組む課題決定	FLAT+	原田	
第四回	行動宣言	大滝による講演 行動宣言	日星高校	大滝	
随時	実践	行動宣言した 内容の実践	活動に応じて	原田	原田が適宜活動 サポート

	授業テーマ	内容	場所	講師	備考
第一回	舞鶴の課題発見	オリエンテーション 課題発見ブレスト	日星高校	原田	
第二回	実践例を学ぶ	商店街現地ツアー	FLAT+	原田	第二回第三回は 2コマ連続授業
第三回	課題設定	ツアー振り返り 取り組む課題決定	FLAT+	原田	
第四回	行動宣言	大滝による講演 行動宣言	日星高校	大滝	
随時	実践	行動宣言した 内容の実践	活動に応じて	原田	原田が適宜活動 サポート

第4回 行動宣言



	授業テーマ	内容	場所	講師	備考
第一回	舞鶴の課題発見	オリエンテーション 課題発見ブレスト	日星高校	原田	
第二回	実践例を学ぶ	商店街現地ツアー	FLAT+	原田	第二回第三回は 2コマ連続授業
第三回	課題設定	ツアー振り返り 取り組む課題決定	FLAT+	原田	
第四回	行動宣言	大滝による講演 行動宣言	日星高校	大滝	
随時	実践	行動宣言した 内容の実践	活動に応じて	原田	原田が適宜活動 サポート

1日カフェにチャレンジ！！

人(地域)と繋がる



ICTを活用

1年生（社会を知る）

	SDGs・V市役所
内容	SDGsについて学び、学んだことを市役所と協力しながら地域に発信する。 1学期：SDGsを知る。 2学期：V市役所 3学期：まとめプレゼン
身につける能力	自然との共生能力（自然を観る、自然を感じる）言語能力（聴く、話す、書く） 論理的数学能力（情報をまとめる、情報から予測する）
身につける知識	地域を知る。未来を知る（未来を考える）社会の仕組みを知る（産官学）

SDGs未来都市舞鶴

2019年 舞鶴市がSDGs未来都市に選定
便利な田舎暮らし

『“ヒト、モノ、情報あらゆる資源がつながる”未来の舞鶴』



出典

<https://www.city.maizuru.kyoto.jp/0000005338.html>

V市役所



V市役所

課題) 危機管理防災課

若い世代が防災について「知る」だけではなく「行動」に繋がられるような防災啓発・教育の手法を考えてください。

今年度

舞鶴市の人口減少をテーマに

解決する探究プログラムに

生徒

高校1年2組 保護者

保護者

2020プロジェクト

先生のみ

2020年度部長主任連絡会

先生のみ

募集企画委員会

先生のみ

SDGs Local Green

生徒

1組 危機管理課

生徒

2組 危機管理課

生徒

3組 危機管理課

生徒

1組 生活環境課

生徒

2組 生活環境課

生徒

3組 生活環境課

生徒

1組 スポーツ振興課

1組 生活環境課

先生：5 生徒：8 [グループ情報](#)[検索](#) [編集](#) [マイグループ解除](#)

生活環境課

2020/09/18 19:02

[削除](#)

こんにちは。

アンケートを取るのはいいいアイデアだと思います。

現状でのみなさんの環境への意識を確認する意味で、ボランティアに対する意識（どう思うか、参加したいと思うか）などを聞いてもいいかもしれません。

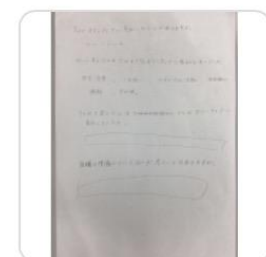
あとはこのアンケート結果をどのようにゴール（中高生が環境分野に興味をもつような事業など）まで導くかを意識してみてください。

よろしくお願いします。

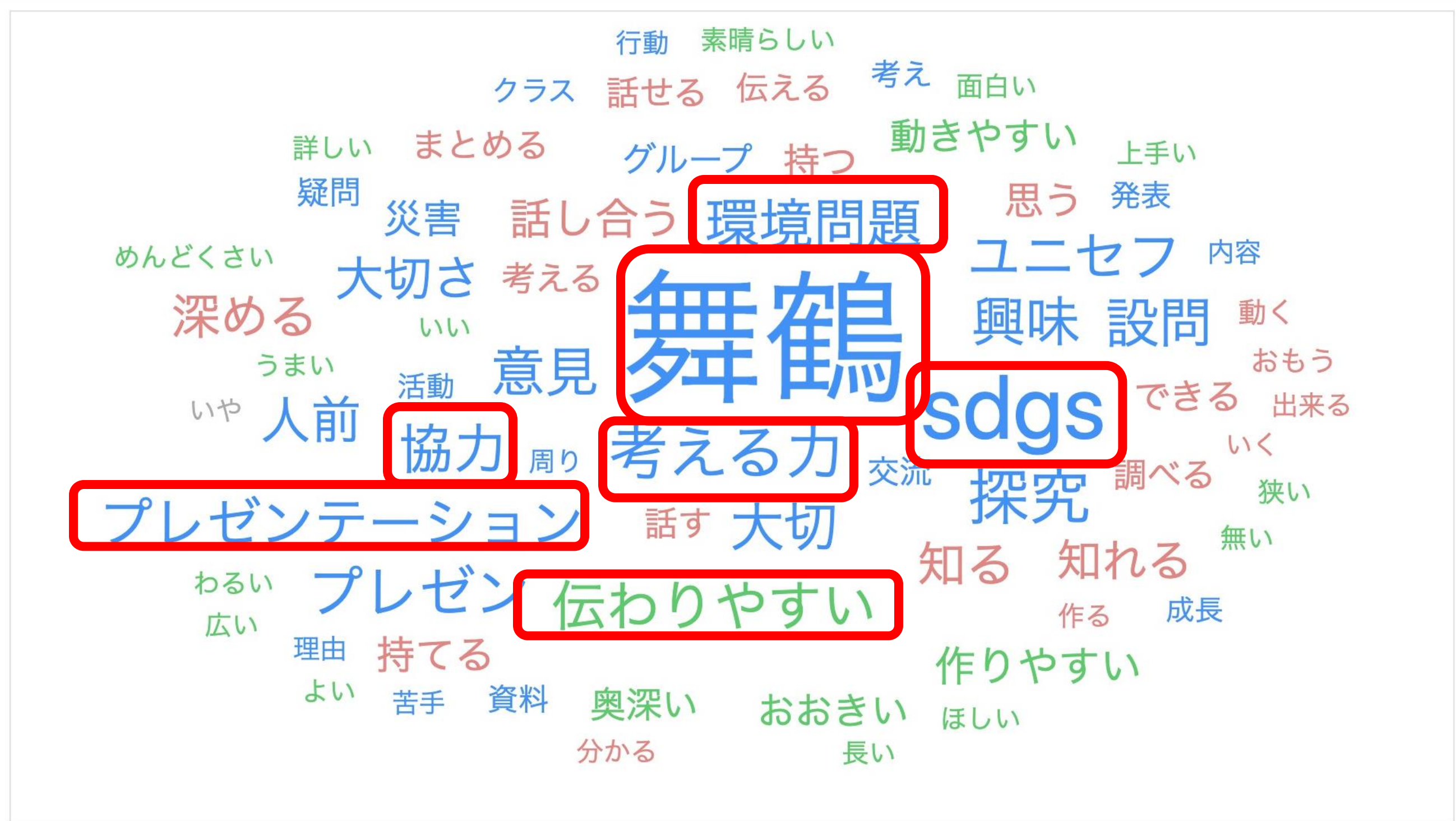
✓2人 | 「見ました」を押す

[コメントする](#)[削除](#)

このアンケートを日星の一年生にとろうと考えています。
このアンケート結果をもとに高校生が参加したことがあるボランティアや
興味のあるボランティアを調べて、今後の舞鶴の環境について考えていきたいと
思います。ご検討お願いします。



探究の時間の学習を通して、
興味を持ったこと、疑問に思ったことは何ですか？



総合的な探究の時間 目的

SDGsの考え方を軸に地域社会の資源や財産を確認し、自ら地域の問題や課題に取り組むことにより、地域で活躍できる人材を育成する。

助けあいで作られている社会の一員として自覚を持ち、自分の特徴づける強みを使って、誰かの役に立つことで自己肯定感を確立する。

そのために

- ・礼儀、マナーなど基礎人間力
- ・自分が興味・関心が持てることからについて深く研究できる力
- ・主体的に考え能動的に行動できる力
- ・客観的にものごとを見つめる力
- ・他者と協同して問題を解決する力
- ・情報発信をする力（表現力）
- ・積極的に社会貢献できる力

各学年ごとのゴールイメージ

1年 基礎力 Level3 思考力・実践力を上げる	2年 思考力・実践力 Level3 得意分野 Level4へ挑戦	3年 1つでも多く Level4へ	目標の実現
---------------------------------	--	----------------------	-------

		Level 0	Level 1	Level 2	Level 3	Level 4	
基礎力	礼儀・マナー	挨拶・言葉使い	挨拶をされても挨拶を返さない。	相手に挨拶をされたら挨拶を返す。	人や場面を選ぶが自分からあいさつをすることができる。敬語が使える。	自分から大きな声で誰に対しても積極的に挨拶をすることができる。敬語を使い分けすることができる。	
		時間	遅刻をする場合に相手に連絡も入れないし、時間も守れない。	遅刻する場合、相手に連絡を入れるが、時間を守れないことが度々ある。	時間を1,2度守れないことがある。	時間通りに行動をすることができる。	時間に余裕を持って(3分前)行動を行うことができる。
		身なり	身なりを正すように指摘されても直せない。	身なりを正すように指摘されることが何度もあり、その都度直すことができる。	身なりを1度指摘されると、きちんとした身なりにすることができる。	清潔感のあるきちんとした身なりができる。	TPOに応じた清潔感のあるきちんとした身なりができる。
	コミュニカ基礎	話す力	原稿を読みながら伝えることができない。	原稿を読みながら伝えることができる	聞き手の目見ながら伝えることができる	自分の意見を伝えた上で、相手の反応に応じて返答することができる。	適切な言葉遣いや展開で説得力のあるプレゼンや説明ができる。
		聴く力	人の話を聴くことが出来ない。	人の話を静かに聴くことができる。	相手の話を聞きながら要点を整理できる。	相手の話の要点をまとめ、感想、質問などができる。	他者からの質問や批判に対して耳を傾け、質問に対して的確に答えることができる。
	情報収集・情報活用	情報収集力	情報収集しようとしれない。	情報を収集できる。	複数の情報源から情報を収集できる。	複数の情報源から信頼性の高い情報を選ぶことができる。	複数の情報源から必要に応じた情報を取り出すことができる。データやグラフ読み取ることができる。
思考力	問題解決能力	創造力	現状に満足し、創造をしようとしれない。	現状を多少改善するような簡単なアイデアを出すことができる。	普段から積極的にアイデアを出そうと努力している。	既存の枠組みにとらわれず、多種多様なアイデア自由にを出すことができる。	既存の枠組みにとらわれず、多種多様なアイデア出しの中から実行可能なものについて比較検討できる。
		課題を発見する力	課題を感じる事が出来ない。	課題(何かうまくいかないこと)があるのは感じる事ができる。	課題を感じ取り、その主な原因を明らかにしようと思考できる。	課題の原因を掘り下げ、何を改善したら良いかがわかる。	複数の課題の改善策を実行し、その上で新たな課題を発見できる。
		論理的思考力	相手の意見を聞き、自分との共通点・相違点を判断できない。	相手の意見を聞き、自分との共通点・相違点を理解している。	自分との共通点・相違点が生じている理由や根拠を考えることができる	共通点・相違点の根拠を検討したり、他の解釈や情報の分析を行い見解が異なる理由を説明できる。	自分と異なる意見を認めたり、他の視点からの情報を論理的に分析できる。さらに多角的な視点で探究できている。
	自己観察能力（メタ認知）	客観的に自分を見つめる力	自分が置かれている状況があまりよく分からない。	自分に不足しているものは理解できているが、補うための行動が起こせない。	自分に不足しているものを一部理解し、それを補うための行動を起こすことができる。	自分に不足している事柄について把握でき、計画を立てて克服のプロセスを踏むことができる。。	計画や方法を結果に基づいて検証し、修正を加えながらより良いものにして努力を継続できる。
		長所・短所	自分の長所・短所がわからない。	自分の長所・短所がわかる。	自分の短所を意識し、自分を変えようと努力している。	短所の改善だけでなく、自分の長所を知り、長所を伸ばそうと努力できる。	短所の改善だけでなく、自分の長所を知り、長所を伸ばそうと努力できる。
		特性・趣向	自分の特性・趣向がわからない。	自分の特性がわかる。または、趣味を持っている。	自分の特性を活かした趣味を持っている。	自分の特性・趣向を意識しながら行動できる。	常に自分の特性・趣向を意識しながら行動でき、趣味・特技を生かせる。
実践力	人間形成・社会形成能力	課題を解決する力	課題に対して何も手を打たない。	課題を解決するため、自分ができることを考えることができる。	課題を解決するための様々な方法を考え、自分だけでなく他者にも提案できる。	課題を解決するための様々な方法を考え、自分だけでなく他者にも提案できる。	課題を解決するための方法をいくつも考え、その実行可能性やメリット、デメリットを考え、より良い方法を提案できる
		チームでの行動力	言われたことを言われた通り実行できない。	言われたことを言われたことの意味を理解した上で言われた通り実行できる。	言われたことをそのままではなく、自分に工夫を加えて実行できる。また、自分の経験から取るべき行動を考えることができる。	自分だけでなく他者と協力してチームとして行動できる。	リーダーとして自発的な行動を考えメンバーに作業を割り振ったり、自分だけでなく他者と協力して行動できる。
		コミュニケーション力	自分の考えや意見を言うことができない。	自分の考えや意見を言うことができる。	自分の考えや意見が理解できるように表現することができる。	相手の考えや意見をくみ取り理解しながら、自分の考えや意見を相手が理解できるように表現し意思疎通することができる。	相手の考えや意見をくみ取り理解しながら、自分の考えや意見を相手が理解できるように表現し意思疎通して、誰とでも協働することができる。
		協働力	身近なメンバーに助けを求めたり、支援したりできない。	身近なメンバーに助けを求めたり、支援したりできる。	課題解決に向けて、自分の役割を理解し行動することができる。自分が他者と異なることを認め相互理解ができる。	課題解決に向けて、他者の提案を受け入れたり、メンバーに対して肯定的な話し方や表情で接することができる。	課題解決に向けて新たな提案や代替的な考えを示すことでメンバーのモチベーション上げ前進させることができる。
		調整力	目標や計画を立てることが出来ない	目標と大まかな計画を立てられる。	目標とそれに則した明確な計画を立てることができるが、計画通りに進められない。	目標達成に向けて計画を立てることができ、ほぼ計画通りに進められる。	目標達成に向けて計画を立てることができ、着実に実行できる。予想外の事態や困難に粘り強く対応することができる。
キャリア	キャリアプランニング	奉仕の精神	自分のやりたいことを最優先する。	他人のために力を貸すことができる。	他の人の役に立つことが自分の喜びになることに気づく。	他の人々の役に立つ活動が自分の喜びとなる。	自分がしんどい時でも、他の人々の役に立つことができる。
		社会貢献	自分の将来について考えたことがない。	自分の将来について考えたことがある。	どんな仕事でも誰かの役に立っている、誰かを幸せにしていると理解し、それをもとに行動できる。	社会の一員としての自分を捉えて、自分の強みを生かした行動でき、それが自分の喜びとなる。	助けあいで作られている社会の一員としてして自覚を持ち、自分の特徴づける強みを使って、誰かの役に立つことで自分に自信を持つことができる。

Level 3,4 に達している割合が低い項目(25%以下)

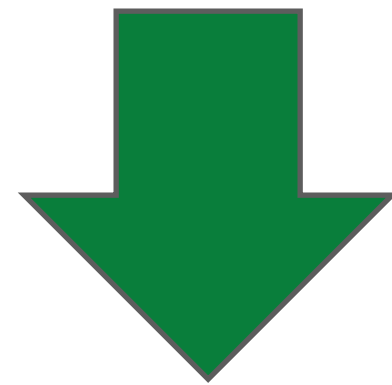
1.挨拶・言葉遣い	21%	→	47%	
4.話す力	20%	→	32%	
5.聴く力	25%	→	49%	
6.情報収集力	25%	→	41%	
7.創造力	18%	→	36%	
8.課題を発見する力	17%	→	45%	28%
9.論理的思考力	8.9%	→	30%	
10.客観的に自分を見つめる力	19%	→	36%	
11.長所・短所	23%	→	51%	28%
13.課題を解決する力	13%	→	38%	25%
15.コミュニケーション力	20%	→	34%	
16.協働力	20%	→	40%	
17.調整力	20%	→	38%	
19.社会貢献	16%	→	43%	27%

まとめ

4.2段落, ESD for 2030 実施枠組み

「(...)変革には、安全な現状、若しくは、「通常の」思考様式、行動様式、生活様式から脱却することを選ぶ人々にとって、とりわけ、一定レベルの混乱を必然的に伴います。それには様々な程度の勇気、粘り強さ、決意が必要です。それは、個人的な信念、洞察、あるいは何が正しいかという単なる感覚から生じることが最も多いのです。」

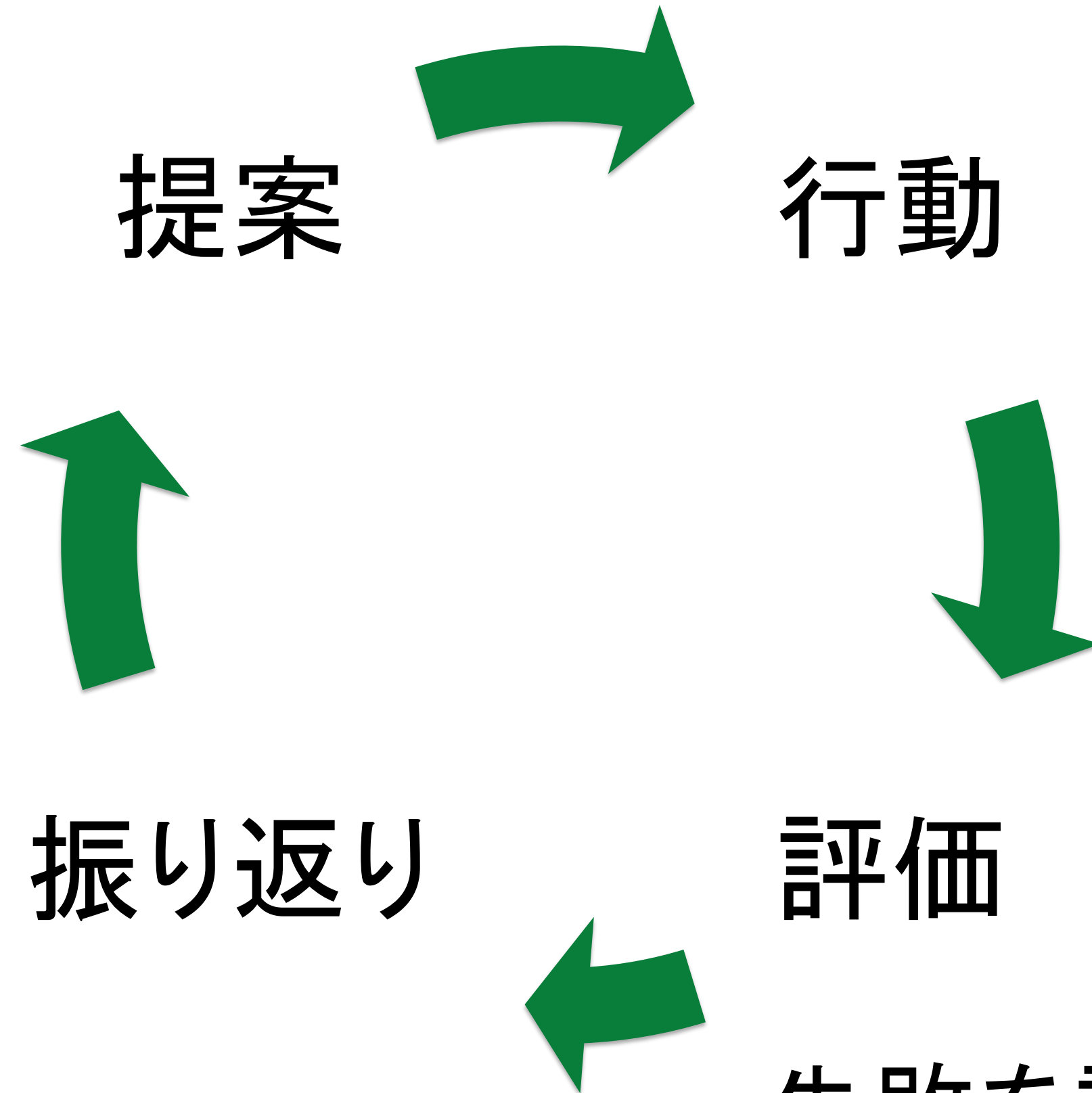
原体験(感情が動く)



「自分ごと」

個人的な信念・洞察が生まれる

持続可能な将来に向け



失敗を許す環境作り！

研究の成果

- ・3年間の「総合的な探究の時間」のプログラム完成
- ・ルーブリック評価 完成
- ・ICTを活用による「見える化」

ICTを活用による「見える化」

- ・グループワークなど(生徒間)の見える化
多面的思考に有効
- ・学校と行政、民間との連携としての見える化
同じ課題を持っていることを共通認識
- ・アンケート調査などデータ収集の時短、見える化
生徒 教師へのフィードバックに有効 自己肯定感の上昇
- ・他教科の進行状況など(教師間)の見える化
教科横断に有効

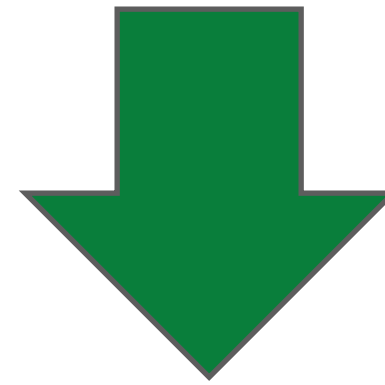
今後の課題

- ・生徒が「地方創生」を『自分ごと』として捉え、
自ら「問い」を立て、答えのない問いに対して考える
プログラムに改良
- ・探究を軸とした教育課程を編成
- ・ICT活用の「見えない化」の対策

ICTを活用したことによる「見えない化」

- ・ネットいじめ、ヘイトスピーチ 「見えない化」
いじめが、誹謗中傷がわかりづらい。
- ・情報の真偽の「見えない化」
情報操作が行われている。
- ・デジタル弱者の「見えない化」
ICTが個別最適な学びをすべての人に提供？

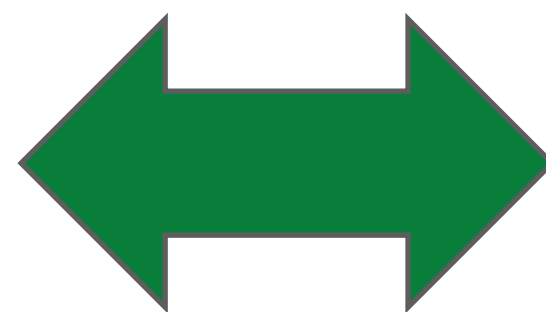
読み・書き・そろばん



読み・書き・そろばん³⁴・デジタル活用

デジタルデバイスを利用した社会参加

ICT活用
(無機的)



人
(感情)

ご清聴ありがとうございました